

中日新聞
「リンクト」LINKED
PRESENTS
病院を
I KNOW! HOSPITAL AND MEDICAL
知ろう
大垣市民病院

企画制作 中日新聞広告局 編集 プロジェクトリンクト事務局

世界の最先端を展開する
大垣市民病院の〈遺伝子〉。



HERE! e-LINKED
www.project-linked.jp/

大きな可能性を秘めた
アブレー・ション治療を追求し、
不整脈で苦しむ患者を救う。

大垣市民病院のある大垣市は、岐阜県南西部にある人口約16万人の岐阜県第2の都市。この一地方都市の市民病院で、世界でも最先端の治療が行われているといつたら驚くだろうかつては治らないといわれた不整脈。その治療に絶大な効果を発揮するアブレーシヨン治療を主導して、不整脈治療の最先端に果敢に挑戦する、大垣市民病院循環器内科に迫った。

世界的権威と共に 最先端の不整脈治療。 **01**

**世界的権威と共にで行われる
最先端の不整脈治療。**

ある日の午後、ここ大垣市民病院のカテーテル室で、世界でも例のないアブレーーション治療（※1）が行われた。患者の疾患名は「左脚前枝型脚枝心室頻拍（※2）」のなかでも稀なもので、それが、心筋梗塞後の心臓に合併したという非常に珍しい症例だった。

この難しい治療を担当するのは、同院循環器内科の森島逸郎



今回の治療例が過去に報告のない稀なケースであつたため、森島が、不整脈治療に関して豊富な知識と経験を有する野上教授を招聘、共同で治療にあたつたのだ。「野上先生に来ていた

野上昭彦。筑波大学循環器内科学講座の教授であり、不整脈治療における世界的な権威だ。

一緒に治療を進めていく。3時間後、治療は無事終了。2人はようやく笑顔を見せた。

医師。そして傍らには、同院関係者ではない医師の姿があった。治療中、森島は幾度か手を止め、その医師に助言を求める。すると、彼が治療の方向性を提案、

内科に迫った。

人の岐阜県第2の都市

※1 アブレーシン治療とは
カテーテルを足の付け根などの
太い血管から入れ、心臓内の不
整脈の原因部分を高周波電流で
焼き切る治療法のこと

らも患者が集まる。また他院で治らなかつた患者が紹介されることがあるといふ。

施できる大垣市民病院には、その評判を聞きつけて、同院が担う岐阜県西濃地区を超えて、東海3県、さらには滋賀県の一部か

だいたいのは、患者さんの安全を担保した上で、最先端の治療を取り組むため。そのことで、考え方の最高の治療を患者さんに提供できます」（森島）。難易度の高い不整脈治療を安全に実

卷之三

不整脈の救世主、 アブレーション治療。

02

大垣市民病院では、患者それぞれの症状や心臓の状況に応じて、オーダーメイドで、最適な治療を提供している。治療には、投薬治療、アブレーシヨン治療、デバイス治療（ペースメーカー）、植込み型除細動器（※1）など

え込み、異常な電気信号を制御する治療)などがあるが、特にアブレーシヨン治療に関しては、保険適応になる前から取り組んでおり、現在までに、2100例、心房細動(※2)だけでも800例(平成26年現在)を超える実績を残している。



不整脈治療のスペシャリストである森島は、このアブレーシヨン治療が今後ますます重要になると語る。理由は、不整脈で最多多い心房細動を根治できるため。さらに、これから高齢化がいつそう進むことを考えると、年齢に従つて発症率の上がる心房細動の患者は、ますます増えることが予想されるのだ。

「とはい」と森島は言う。「アブレーシヨン治療が心房細動にまで適用されるようになつたのは、ここ10年あまりのこと。

治療は未だ発展途上で、可能性を突き詰めるところまではいつていません」。可能性を追求するためにには、常に新しい情報を得ることが必要だと強調する森島は、ほぼ毎年、ハートリズムソサイエティという世界最大の不整脈学会に参加するほか、著名な医師を病院に招いたり、治療の見学希望者を国内外問わず受け入れることで情報交換を図っている。そうした交流により、森島は世界的なネットワークを構築、不整治療の最前線に我が身を置き続けている。

※1 心室頻拍などの致死的不整脈を止め、心臓の働きを回復する補助人工臓器

※2 不整脈の一つ。正常なリズムで動いていた心房が変調を來たし、細かく収縮(細動)した状態を指す。脳梗塞の原因にな

るといわれている

治療は未だ発展途上で、可能性を突き詰めるところまではいつていません」。可能性を追求するためにには、常に新しい情報を得ることが必要だと強調する森島は、ほぼ毎年、ハートリズムソサイエティという世界最大の不整脈学会に参加するほか、著名な医師を病院に招いたり、治療の見学希望者を国内外問わず受け入れることで情報交換を図っている。そうした交流により、森島は世界的なネットワークを構築、不整治療の最前線に我が身を置き続けている。

大垣市民病院で受け継がれる伝統。

03

救命——。循環器内科においても、その姿勢は、大垣市民病院の伝統として、脈々と受け継がれてきた。

森島は言う。「研修医としてここに来た当時、現病院長の曾根孝仁先生が治療の第一線に立たれ、急性心筋梗塞の治療、PCIで日本の最先端を走っていました。大垣初のアブレーシヨン治療も曾根先生です。実際

で最も早いCCU(冠疾患集中治療室)の設置、全国トップクラスのPCI(※1)施行症例数、世界初の人工心肺装置を使用した劇症型心筋炎(※2)の

治療も曾根先生です。実際に曾根先生とともに治療にあたり、常に最先端の治療に挑戦する姿に感銘を受け、「自分もこうありたい!」と強く思つたんですよ」。

COLUMN

● 加えて、大垣市民病院が各レベルの高い総合病院だということも同科の強み。患者が循環器以外の合併症を起こしても、直ちに同院の誇る専門医たちに診てもらうことができる。

● それをさらに強めたのが、平成26年に完成したハイブリッド手術室。カテールを使う内科的治療と外科手術を二つの部屋で行えるハイブリッド手術室の存在により、高いレベルにある内科と外科が協業、さらに高度な医療を提供している。



A photograph of two men in white lab coats standing together in a medical setting. The man on the left is older, balding, and smiling. The man on the right is younger, has dark hair, and is also smiling. They appear to be in a hospital or clinic.

その後一旦、大垣市民病院を離れた森島だが、「曾根先生のもとで不整脈治療を確立しよう」と思い、平成13年、再び同院に戻ってくる。そんな森島に、曾根院長は自らの後継として、治療のほとんどを任せられるようになる。森島もその期待に応えるかのように自己研鑽に励んでいく。「新しい治療法の場合、教科書がないので、経験豊富な医師の手技を直接見聞きすることが非常に重要」。そう話す森島は、平成17年には口サンゼルスの病院に留学。アメリカ、ドイツ、イタリア、台湾などの海外施設にも積極的に足を運んだ。病院もそんな森島を積極的にバック

交わしながら、治療は進められた。中継は、アブレーション治療の発展にとって非常に有意義なものとなり、果敢に新しい治療に挑戦する森島の姿は、会場内の後輩や若い医師におおいに刺激を与えるものとなつた。

企画制作
中日新聞廣告局
編集協力
大垣市民病院
〒503-8502
岐阜県大垣市南頬町4-86
TEL 0584-81-3341(代表)
FAX 0584-75-5715
<http://www.ogaki-mh.jp/>
お問い合わせ
中日新聞廣告局広告開発部
TEL 052-221-0694
FAX 052-212-0434
プロジェクトリンクト事務局
TEL 052-884-7831
FAX 052-884-7833
<http://www.project-linked.jp/>

中日新聞 「リンクト」 LINKED PRESENTS 病院を ! I KNOW! HOSPITAL AND MEDICAL

プロジェクトリンク 検索

世界の最先端を
次世代へと繋ぐ

04

けです。診断を行うには、症例ごとに自らの頭で考え、判断する能力が不可欠です。人前で発表するとなれば、嫌でもいろいろ考えますから」。

師の手技を直接見聞きすること
が非常に重要」。そう話す森島
は、平成17年にはロサンゼルスの
病院に留学。アメリカ、ドイツ、
イタリア、台湾などの海外施設
にも積極的に足を運んだ。病院
もそんな森島を積極的にバック
次世代へと繋ぐ。



B A C K S T A G E

●本文で述べたように、森島が大垣の地で最先端の治療を追求できるのは、大垣市民病院の伝統とサポート体制に負うところが非常に大きい。

そうした病院のある地域によって、住民の受けられる医療レベルに差が出ないよう、今後は、医師が最先端の治療を学ぶことができる環境、病院がそれを提供できる仕組みを、行政を含めた地域で作っていくことが求められているのではないか。うか。

アップ。知識と経験を蓄えた森島は、大垣市民病院の伝統を受け継ぐ一人となつていく。

の発展とともに力を注ぐのが後進の育成だ。「後輩たちは思考能力を養うため、学会発表を強く求めています。たとえば

常にフエアで、オープンな姿勢で
ありたいんです」。そう力強く
話す森島は、大垣市民病院の伝
統を受け継ぐ者として、ここ大
垣の地から、常に新しい治療に
挑み続ける。ありふれた地方の
都市にある大垣市民病院。だが
ここには、世界の最先端がある。

●岐阜県西濃地区の住民は、大垣市
民病院において、最先端の不整脈治療
を受けることができる。しかし、それが
どの地域でも可能かというとそうでは
ない。病院が最先端の治療を提供でき
るか否かは一部の大学病院などを除い
て、個々の医師の能力や努力、またそれ
をハード・ソフトの両面で支える病院の
姿勢などに頼っているのが現状だ。